



一般質問

細井 幸雄 議員

買収ではなく敷地後退を  
求める根拠は

「ルールと責務を定めた協定による」



議員 新  
曾中央地  
区まちづ  
くり協定  
では「生

は財産権侵害の疑いも  
ある。後退分の買収か、  
後退等の制限を撤回す  
べきだ。

だくものです。いたず  
らに制限をかけている  
とは理解していない。

いことだ。時代錯誤を  
感じる。何のための隅  
切りか。協働の理念、  
公平の原則にも反す  
る。

議員 地区計画がこの  
先、円滑に推移すると  
は到底思えない。見直  
しを望む。

新曽まちづくり

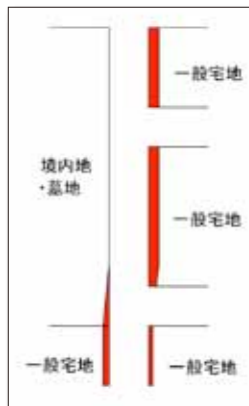
活道路」の幅員を4m  
と定めているが、実質  
幅員5.5mを確保す  
るため、差し引き1.  
5mを両側の地権者が  
提供し、植栽が義務化  
される。片や「地区補  
助幹線道路」は拡幅分  
を市が買収する。不公  
平であり、私権の制限

都市整備部長 幅員4  
mの生活道路沿いの敷  
地は、事業に伴う買収  
がないことから、その  
沿道家屋においては、  
延焼防止や倒壊による  
道路閉塞防止を目的に  
壁面後退を行っていた  
だき、緑化を道路沿い  
に優先的に施していた

議員 境内地・墓地に  
隣接した道路の拡幅  
は、ほぼ一方的に一般  
宅地に後退を求め、境  
内地・墓地を聖域化し  
ている。その最たるは  
一般宅地と墓地を挟ん  
だクランク状道路の連  
なった角地の隅切り  
を、一般宅地には求め、  
墓地側には求めているな

都市整備部長 本地区  
の景観面や街並みに形  
成すべき要素として、  
協議会の意見もいただ  
きながら地域の風致建  
造物である寺や墓地を  
避けて計画を策定し  
た。応分の負担、公平  
の原則に反しないと考

境内地・墓地聖域化の例  
(寺側敷地のほとんどを避け、  
一般宅地側を拡幅)



健康長寿

高齢者が地域で元気に  
暮らせる福祉支援策を

「元気な高齢者のための事業は重要」



議員 (1)  
外出や住  
民間交流  
で、孤立  
を防ぐた  
めの支援が必要であ  
る。①登録した団体が、

健康増進となる活動に  
参加すると、1回1ポ  
イントがもらえ、貯め  
たポイントが換金でき  
る。団体の親睦活動を  
支援する「シルバーポ  
イント」制度の創設は

福祉部長 (1)元気な高  
齢者のための事業は、  
重要かつ大きな課題と  
しては。



▲リズム体操 (戸田市社会福祉協議会上前支部)

救急医療の  
機能強化を  
議員 (1)佐賀県では、  
全救急車に「iPad」  
を配備させた。救急医

消防長 (1)県は導入時  
期や運用方法などの計  
画を今後進めていく。  
(2)国が検討している緊  
急度判定基準に沿って  
実施に向け検討する。

三浦 芳一 議員

市民向けいじめ撲滅へ  
市長の決意・宣言を

「戸田市広報で緊急メッセージ発信」



議員 不  
登校生徒  
一人ひと  
りへの的  
確な指導  
支援をより一層お願い  
したい。いじめは未然  
防止が大事。ゆえに早  
期発見、早期対策が重  
要になるが、戸田市ら  
しい特徴的な仕組みづ

いじめめる側が  
100%悪い。  
許さないぞー

教育行政

鈴木 麗子 議員

学童保育

指導員の確保と  
研修等の充実を

「安心保育のため急な欠員にも対処」



議員 学  
童保育室  
は家庭に  
次ぐ生活  
の場であ  
り、保育室の運営のか  
なめは非常勤とパート

の指導員だが、一部保  
育室で指導員間の共同  
意識の欠如が見られ  
る。また、保護者や指  
導員・担当間のトラブ  
ル対策など、公平公正  
な対応に努めてほし

子ども青少年部長 学  
童保育は、複数の指導  
員が協力し、業務マニ  
ユアルに沿い実施して  
いる。パート指導員へ

災害時の健康危機管  
理とバッククッキング  
議員 災害時、体調を  
維持する視点で、要援  
護者には適正な栄養・  
食支援が重要である  
が、対策や災害時、市  
内の給食施設等の活用

福祉部長 新防災計画  
は要援護者に配慮した  
食支援を図り、給食セ  
ンター等も活用する。

総務部長 バッククッ  
キングも非常に有効  
である。

その他の質問  
Q. 熱中症対策にミスト  
シャワーの導入を。  
A. 各学校で検討する。

バッククッキングとは  
家庭版真空調理  
ポリ袋を鍋にして。  
電気ポットや  
電気炊飯器を  
加熱器にして。



▶いじめ防止指導 (喜沢中)

より一層対策に取組  
む。

生活保護行政  
議員 ケースワーカー  
の増員を行い、一人ひと  
りに丁寧な対応と、  
自立に向けた支援の拡  
大や、ジェネリック医  
薬品などの活用で医療  
扶助の減額を図れ。

福祉部長 レセプト点  
検の強化で、重複診療  
や過剰診療への指導強  
化を図る。